

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	工学基礎演習第二		
英文授業科目名	Engineering Fundamentals II		
開講年度	2006年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	専門科目-専門基礎科目-必修科目		
開講学科・専攻	量子・物質工学科		
担当教官名	尾関 之康		
居室	東6-534		

公開E-Mail	授業関連Webページ
yozeaki@pc.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
工学基礎演習第1の内容で習得不十分な点を復讐するとともに、工学基礎としての数学を、特に力学や電磁気学との関連を重視した演習を通して身につける。

【前もって履修しておくべき科目】
力学第1、工学基礎演習第1

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
同上

【教科書等】
力学第1の教科書「なーるほど!の力学」を参照する。

【授業内容とその進め方】
<p>次の各項目について十分な時間をとって演習の形で進める。</p> <p>(1)ベクトル演算</p> <p>(2)直交座標系の運動方程式</p> <p>(3)2階線型微分方程式(自由落下、単振動、減衰振動等)</p> <p>(4)テイラー展開</p> <p>(5)平面極座標での運動方程式</p> <p>(6)仕事とポテンシャル</p> <p>(7)角運動量</p>

電気通信大学 平成18年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a)評価方法：

3回の間接試験・期末試験及び演習・レポートの結果を、次のように総合評価する。

演習・レポート 40%

試験 60%

(b)評価基準：

単位取得には、上記評価法により60%以上の得点が必要。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じる。

【学生へのメッセージ】

毎回出席しましょう。

講義を理解するためには、自分で問題を解いてみるのが重要です。

そのためには、考え方を理解し、計算ができなければなりません。

【その他】